

産業競争力とデザインを考える研究会（第1回） 議事概要

1. 日時・場所

日時：平成29年7月5日（水）14時00分～15時30分

場所：特許庁庁舎7階庁議室

2. 出席委員

鷺田委員（座長）、梅澤委員、喜多委員、小林委員、田中委員、永井委員、長谷川委員、松井様（林委員代理）、前田委員

3. 配付資料

議事次第・配布資料一覧

委員名簿

資料1 会議の公開について（案）

資料2 産業競争力とデザインを考える研究会について

資料2-1 デザインを巡る現状と論点

資料2-2 本研究会の開催予定日（案）

資料2-3 調査事業による本研究会のサポート

4. 議事内容

事務局より、資料1に沿って、会議の公開について説明が行われ、これを踏まえて討議が行われた。会議は非公開とするものの、配付資料及び議事要旨は原則公開するほか、各委員の責任において委員が自身の意見をSNS等で発信することは妨げないこととなった。

事務局より、資料2から資料2-3に沿って、研究会の趣旨、検討の進め方、デザインを巡る現状と論点等について説明が行われ、これを踏まえて討議が行われた。事務局より提示した本研究会における論点案及び研究会の開催予定日案については委員から特段の異論なく了承が得られた。その他の主な意見は以下のとおり。

- ・我が国と諸外国における「デザイン」の意味に対する認識のずれや、デザインという概念の広がり等が見られる中、「デザイン」の定義や本研究会で議論すべき「デザイン」を明確化する必要があるのではないか。
- ・日本でもデザインに対する感度が高いスタートアップ企業が存在しており、デザインをうまく使えていないのは歴史の長い大企業、特に製造業において

いえることではないか。

- 日本のデザイン力は国内外から高い評価を受けているというデータには違和感があり、むしろデザイン力の低さをリスクとして認識すべき。
- 本研究会における論点として、持続可能なものづくりやオープンイノベーションといった観点からのデザインの位置付け等が挙げられるのではないか。
- 今後の進め方について、よりよいアイデア、良い結果を導き出せるよう、例えば、委員同士が相互に話し合える場を設定するやり方もあるのではないか。

以上

お問合せ先

商務・サービスグループ クールジャパン政策課

電話：03-3501-1750

FAX：03-3501-6782

特許庁審査第一部 意匠課

電話：03-3580-6920

FAX：03-5570-1588